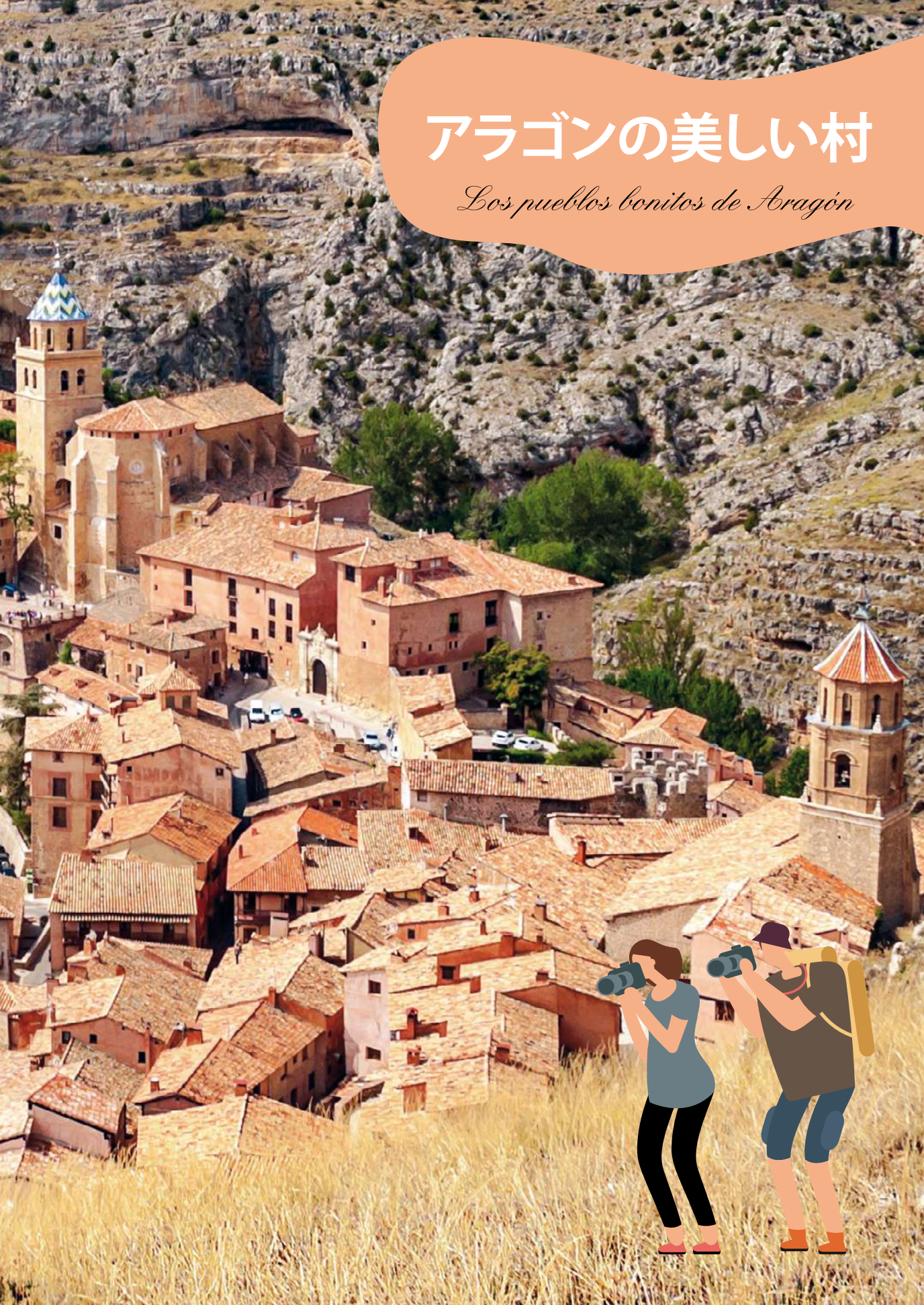
アラゴンの美しい村

Los pueblos bonitos de Aragón



アラゴンの美しい村へようこそ!

歴史情緒あふれる街角、生活の匂い、地元産の食材を使ったおいしい食事、旅人を温かく迎え入れてくれる村人。歩みを進めるごとに、村の隅々に根付く素朴ながらも深みのある魅力に出会うはずです。

北のウエスカ、中部のサラゴサ、南のテルエル。

東西南北で変わる自然景観。山や谷、川を渡ると変わる歴史や文化。ひと口にアラゴンと言っても、その魅力は実に多様です。

街角を歩いている気分でページをめくってみてください。

目次

3 地図

ウエスカの美しい村

4 アインサ Aínsa
5 アルケサル Alquézar
6 アンソ Ansó
7 トルラ Torla
8 ロダ・デ・イサベナ Roda de Isábena
9 ベナスケ Benasque
10 ハカ Jaca
11 サンタ・クルス・デ・ラ・セロス Santa Cruz de la Serós
11 リグロス Riglos

サラゴサの美しい村

12 ソス・デル・レイ・カトリコ Sos del Rey Católico
13 ウンカスティージョ Uncastillo
14 タラソナ Tarazona
15 カタラユ Calatayud
16 ダローカ Daroca
17 アネント Anento
17 フエンデトドス Fuendetodos

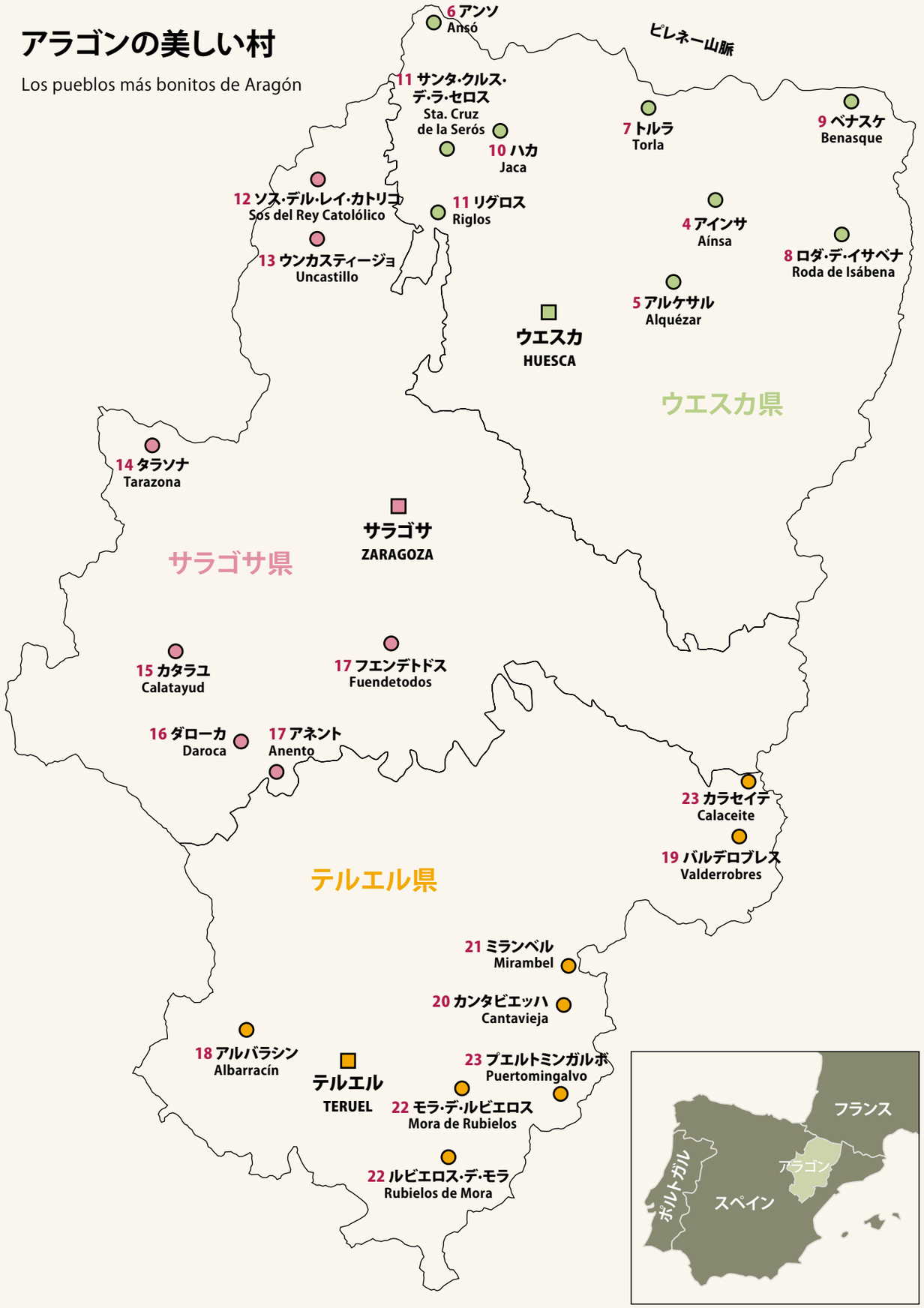
テルエルの美しい村

18 アルバラシン Albarracín
19 バルデロブレス Valderrobres
20 カンタビエッハ Cantavieja
21 ミランベル Mirambel
22 モラ・デ・ルビエロス Mora de Rubielos
22 ルビエロス・デ・モラ Rubielos de Mora
23 カラセイテ Calaceite
23 プエルトミンガルボ Puertomingalvo

24 美しい村のグルメ
26 美しい村を旅するためのヒント
27 アラゴンへのアクセス

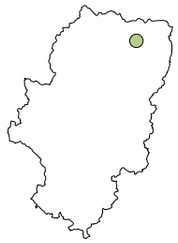
アラゴンの美しい村

Los pueblos más bonitos de Aragón



アインサ
Aínsa

標高 569 m | 人口 2,300人



ピレネー山脈の風景に溶け込む中世の村

ピレネー山脈から流れるアラ川とシンカ川に囲まれた村。8世紀から11世紀にかけてソブラルベ伯爵領の都として栄えた歴史を持っています。

高台の上にある旧市街には旅情あふれる街角が広がっています。マジョール広場、ロマネスク様式のサンタ·マリア教会、昔ながらの石造りの家、アインサのシンボルであるペーニャ·モンタニェサ山（2295m）を臨む展望地。レストランやバル、グルメショップで地元の味に触れることもできます。

城壁の上は眺望台になっており、マジョール広場やピレネー山脈を一望することができます。天気が良い日は、世界遺産のオルデサ国立公園やペルディード山（3355m）が 眺められます。

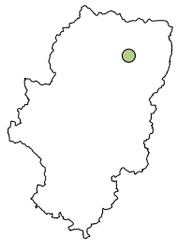
旧市街からスタートするミニハイキングもおすすめです。「ソブラルベの木」の伝説が生まれたとされる場所「クルス·クビエルタ」や、シンカ川を一望できる「ミラドール·デ·シンカ」を訪ねる、約1時間の散策コースがあります。

毎年5月にはアインサの伝統文化である筏下りのお祭り（デスセンソ·デ·ナバータス）が開催されます。

1 眺望台から見渡すことができるアインサ旧市街。 2 11世紀に建てられたロマネスク様式のサンタ·マリア教会。 3 16世紀の城壁跡。動物博物館の看板の上にはピレネーの王者「ヒゲワシ」の模型が。 4 重厚な石造りの町並みが残る旧市街は国の歴史遺産に指定されている。

アルケサル
Alquézar

標高 660 m | 人口 350人



イスラムの歴史が眠る、峡谷に囲まれた村

オリーブやアーモンドの畑がどこまでも広がる丘陵地帯。グアラ山脈の麓、ベーロ峡谷がつくった 小高い丘の上にアルケサルがあります。

村の起源は9世紀にイスラム教徒が築いた城。村の名前はこの城に由来します。国土回復運動の後、城はキリスト教徒の修道院へと姿を変えました。現存するサンタ·マリア教会にはロマネスク彫刻が醸し出す穏やかな空気が流れています。

16世紀の町並みを残す歴史地区には、レンガや瓦を使用した伝統家屋が立ち並び、町の中心には小ぢんまりとした可愛らしい広場があります。

チーズ·ワイン·はちみつ·アーモンド菓子など、ご当地グルメも豊富。アラバル地区にはバルやレストランが軒を連ねます。

ベーロ峡谷のハイキングコースも人気です。（約2時間）。旧市街からスタートし、断崖絶壁に設置された桟橋を歩きながらベーロ川の景色を堪能しましょう。ベーロ川文化公園では先史時代の壁画巡りもできます。

2023年にUNWTO（国連世界観光機関）のベスト·ツーリズム·ビレッジに認定されました。

1 展望地から眺めるアルケサルの全景。 2 石畳を進むと現れるサンタ·マリア教会。 3 村を取り囲むベーロ峡谷。旧市街から桟道ハイキングへ出かけることができる。 4 旧市街の中心にあるマジョール広場には、レンガと石造りの伝統家屋が立ち並ぶ。

アンソ
Ansó

標高 860 m | 人口 400人

ピレネーの深奥に佇む静かな山村

1

2

3

4

ナバラ州と隣接するアンソ渓谷。その中心地であるアンソは、大自然の中で独自の文化を育んできた村です。

村に近づくにつれ、サン・ペドロ教会と可愛らしい伝統家屋が見えてきます。重厚な屋根や大きな煙突は、この地域の厳しい冬を物語るようです。

石畳の道に足を踏み入れ、昔から変わらない町並みを散歩し、ピレネーの山村の暮らしを感じてみましょう。

新緑がきらめく初夏、山登りに最適な夏、静かな時間が流れる秋など、四季を通して自然と村が調和する姿を楽しめます。

毎年8月末には、国の文化財に指定される「伝統衣装祭り」が開催されます。深緑・赤・白を使った色鮮やかな伝統衣装はアンソの代名詞。このお祭りは、伝統衣装に身を包んだ村人を間近で見ることができる、貴重な機会です。また、村の博物館では常時、伝統衣装を展示しています。

近場には、バージェス・オクシデンタレス自然公園があり、リンサ渓谷やスリサ渓谷でデイハイクや縦走登山を楽しめます。

1 夏は美しい緑が村に彩りを与える。山を越えると隣接するナバラ州のロンカル渓谷がある。2 サン・ペドロ教会の鐘楼。3 石畳の道がどこまでも延びる。 4 長い歴史を感じさせる伝統家屋は現在も大切に使われている。

トルラ
Torla

標高 1032 m | 人口 300人

オルデサ国立公園のパノラマを求めて

1

2

3

4

ソブラルベ地方のブロート渓谷を北へ進むとサン・サルバドール教会の鐘楼が見えてきます。鐘楼というよりも要塞のような見た目は、ここが古くから国境地帯であったことを思い出させてくれます。その後ろにそびえるのは、オルデサ国立公園の岩壁です。

石畳の道、伝統家屋、歴史の匂いが香る街角。村を取り囲む雄大なピレネーのパノラマが風光明媚な村の魅力を更に引き立てます。町のどこを切り取っても、豊かな自然景観を堪能することができます。

一年を通して登山家やハイカーで賑わうトルラは、国立公園の玄関口の役割を果たしています。デイハイク、山小屋縦走、フランスへの国境越え、断崖絶壁をゆく眺望ルートなど、全ての人がピレネーの自然を楽しめます。

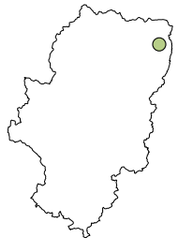
夏期や大型連休には、トルラからオルデサ渓谷行きのシャトルバスが運行するため、気軽にピレネー山脈へアクセスすることができます。

宿泊施設や飲食店、山岳用品店が充実しているのも嬉しいポイント。トルラを起点にピレネーの世界遺産オルデサ国立公園を満喫してみてください。

1 サン・サルバドール教会とその背後にそびえるモンダルエゴ山(2847m)。村から国立公園が見える。 2 サン・サルバドール教会。 3 中心部にはレストランやバル、スーパー、スポーツ用品店、宿が軒を連ねる。 4 夏は観葉植物が街角に彩りを添える。

ロダ·デ·イサベナ
Roda de Isábena

標高 907 m | 人口 40人



ロマネスク建築の至宝が眠る村

リバゴルサ地方、イサベナ川を見下ろす丘の上にロダ·デ·イサベナはあります。10世紀にリバゴルサ伯爵領の都として栄え、司教座が置かれていた村です。

村の歴史は街角にしっかりと刻まれています。石畳の道を進むと、小さな広場に到着。そこには思わず驚いてしまうほど迫力のある大聖堂が建っています。

半円アーチを描く門をくぐり、堂内に足を踏み入れた瞬間から、ロマネスクの世界にタイプスリップ。石造りの神聖な空間の中に、中世美術の奥深さが広がっています。簡素ながらも趣のある地下礼拝堂、ロマネスク彫刻が施された石棺、鮮やかな色が残る壁画、主祭壇の木彫、心地よい静寂に包まれた回廊。時間をかけてゆっくり鑑賞したいモニュメントです。

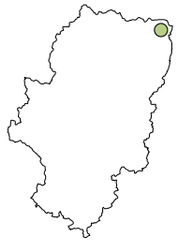
回廊にあるレストランはかつての修道士の食堂をリニューアルしたもの。中世の世界に浸りながらアラゴン料理を楽しむことができます。

村はずれには見晴らし台があり、ピレネー山脈を一望することができます。村に宿泊して、静かな朝の散歩に出かけるのもよいですね。

1 村には16世紀に建てられた邸宅が残る。2 大聖堂の地下礼拝堂。ロマネスク美術のお宝が眠っている。3 大聖堂の回廊。アーチには昔ここに暮らした修道士に関する碑文が刻まれている。4 アーチの向こうにピレネー山脈が見える。

ベナスケ
Benasque

標高 1138 m | 人口 2,200人



ピレネー随一の急峻な山々を仰ぎ見る

カタルーニャに隣接するリバゴルサ地方の山あいをエセラ川に沿って北へ向かいます。しばらく進むと、ピレネー最高峰のアネト峰（3404m）やポセッツ峰（3369m）、マラデタ峰（3312m）などの名峰に囲まれたベナスケに到着。夏は登山、冬はウィンタースポーツの中心地として賑わう町です。

簡単なハイキングからフランスへの国境越え、山小屋縦走まで目的にあわせた山歩きを楽しめます。中でもジャーノス·デ·オスピタルとフォラウ·ダイグアジュットは地元民に愛される景勝地です。

雪解けの時期（4月～6月）は滝、川、山上湖などの水景も必見。夏期はリフトで山をひと登りしてピレネーの大パノラマを楽しむことができます。

ベナスケの旧市街では、昔の邸宅やロマネスク建築を巡ったり、ピレネー地域の素朴な郷土料理も味わえます。

周辺の村へハイキングに出かけるのもおすすめです。小さな旧市街が残るアンシーレスや標高1540mに位置するセルレールなど風光明媚な村が点在しています。

ベナスケを起点にピレネーの雄大な自然を体感してみてください。

1 ベナスケ渓谷とベナスケの町。ピレネーの大自然が広がる。2 マジョール広場に建つサンタ·マリア教会。3 ファウレ邸。スレートが敷かれた屋根はピレネー地域ならでは。4 ベナスケの旧市街と16世紀に建てられたフステ邸の塔。

ハカ
Jaca

標高 818 m | 人口 13,000人

サンティアゴ巡礼路が通る、アラゴン王国の古都

1

2

3

4

ナバラと隣接するハセタニア地方の都ハカは、中世よりサンティアゴ巡礼路の宿場町として発展し、11世紀にはアラゴン王国の最初の都が置かれました。夏のバカンス時期やウィンタースポーツの時期はリゾート地として活気に満ちる「ピレネーの真珠」と呼ばれる町です。

長い歴史を物語るように、旧市街にはスペインで最も古いとされる大聖堂が建っています。フランスからピレネーのソンポルト峠を越え、数々の巡礼者がこの大聖堂を通り過ぎてゆきました。ハカで生まれた「ハカの市松模様」は、巡礼路を通じて北スペインに広まったロマネスク装飾として知られています。

大聖堂に併設する司教区美術館では、周辺地域から集められた数々のロマネスク壁画を鑑賞することができます。

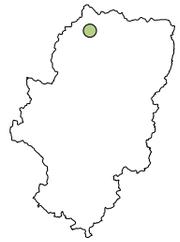
ローマ帝国時代に起源を持つ旧市街には、お店や飲食店、修道院、教会があり、散策を楽しめます。

ハカ近郊には、サン・フアン・デ・ラ・ペーニャ修道院やカンフランク駅など、アラゴン州を代表するモニュメントが点在していることも魅力です。

1 シウダデーラ要塞の堀とオロエル山(1769m)。2 ハカの周りに広がる畑とピレネー山脈。3 ハカ大聖堂の外壁にはハカの市松模様が施されている。4 夜に賑わいをみせる大聖堂前の広場。

サンタ・クルス・デ・ラ・セロス
Santa Cruz de la Serós

標高 788 m | 人口 190人



魔女除けの煙突がトレードマーク

1

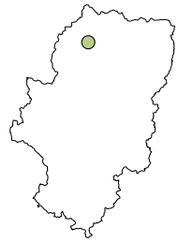
サン・フアン・デ・ラ・ペーニャ修道院があるペーニャ山系の麓に位置する村。小さいながらも、見どころが詰まっています。

村の入口には、11世紀のロマネスク建築サン・カプラシオ教会が佇んでいます。村の中へ進んでいくと、大きな教会が見えてきます。11世紀に、アラゴン王国の王女たちが暮らした修道院の名残であるサンタ・マリア教会です。路地を歩くと、伝統家屋の屋根に取り付けられた魔女除けの煙突が目を引きます。高台まで登り、村を一望するのもおすすめです。

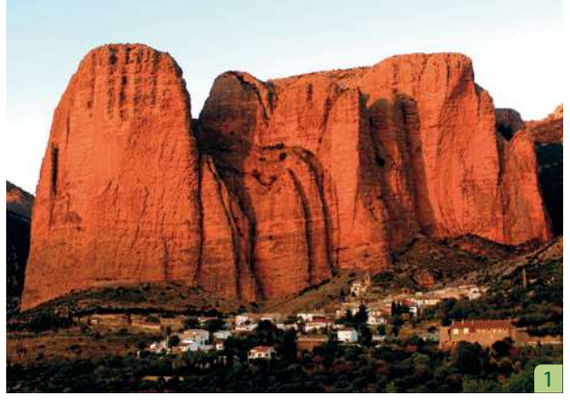
1 サンタ・マリア教会と村の町並み。

リグロス
Riglos

標高 678 m | 人口 80人



麓から見上げる高さ300mの奇岩


1

ガジェゴ川が流れ、オリーブやアーモンドの畑が広がるプレピレネー山脈の麓にリグロスの村はあります。村後方に聳えるのはリグロスの奇岩。褐色の礫岩から成る天然の彫刻は見る者を圧倒します。

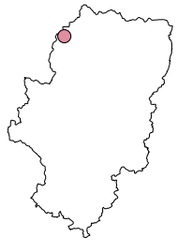
シロエリハゲワシの生息地として知られる奇岩は、ロッククライミングの名所としても有名。世界各国からクライマーがやってきます。

奇岩をぐるりと一周するハイキングに挑戦したり、サンティアゴ巡礼路を歩いたり、スペインで一番遅い列車「カンフラネーロ」に乗って訪ねることもできます。

1 奇岩の麓に佇むリグロスの村。

ソス·デル·レイ·カトリコ
Sos del Rey Católico

標高 652 m | 人口 350人



カトリック王フェルナンド2世の生まれ故郷

ナバラと隣接するサラゴサ県北部。小高い山と畑に囲まれた道を進むと美しい旧市街が姿を現します。

昔の邸宅·市庁舎·マジョール広場など歴史を感じさせる街角を進みます。石畳の道が迷路のように延びる旧ユダヤ人街を散策したり、フェルナンド2世の生家「サダ邸」で歴史の片鱗に触れてみるのも良いでしょう。

ゆるやかな坂道を上り高台へ出ると、村を代表するモニュメントが現れます。城壁やすらりと伸びる塔は、昔ここに城があったことを彷彿とさせます。その隣にあるサン・エステバン教会では、ゴシック様式の色鮮やかな壁画を鑑賞することができます。見晴台から見える景色はかつてアラゴン王国とナバラ王国の国境であった地域。のどかな風景の中に歴史のロマンが詰まっています。ここから、朝焼けや夕景をのんびり鑑賞してみてください。

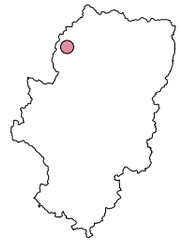
町のはずれには旧邸宅を改築したパラドール（国営ホテル）があり、アラゴン伝統料理や宿泊を楽しめます。

ウンカスティージョやサダバ、エヘア·デ·ロス·カバジェーロスなど近隣の町へ足を延ばすのもおすすめです。

1 村の頂上に立つサン·エステバン教会。城壁や見張りの塔も残っている。 2 中世に時間を巻き戻したような小路を進む。 3 迷路のように入り組んだ道が延びる昔のユダヤ人街。 4 丘の上に広がる村ならではの伝統家屋に出会える。

ウンカスティージョ
Uncastillo

標高 601 m | 人口 620人



村名の由来となった城を目指して

リグエル川が流れるサント·ドミンゴ山系の麓に「城」という意味を持つ名の村があります。10世紀、南方から攻め入るイスラム教徒に対抗する目的でパンプローナ王国が建てた城が名前の由来です。

村の中心にそびえる高台には城跡と塔が残っており、中世の栄華を懐かしむように佇んでいます。主塔の中にある博物館では城の歴史に触れることができ、最上階からは村と周辺の自然景観を一望することができます。

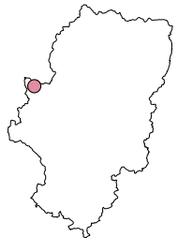
高台から村へ下り旧ユダヤ人街へ。迷路のような路地を進むといくつものロマネスク教会に出会います。サン·マルティン教会、サンタ·マリア教会、サン·フアン教会、サン·ロレンソ教会、サン·フェリセス教会。中世の息吹を今に伝える貴重な建築群です。コミカルながらも趣のある彫刻を鑑賞したり、厳かな雰囲気が残る堂内をじっくり巡ってみましょう。

村から15㎞にあるローマ遺跡「ロス·バニャーレス」にも足を運んでみてください。ローマ浴場やフォロ·ロマーノ、水道橋跡を見ることができます。

1 ウンカスティージョの旧市街とサンタ·マリア教会の鐘楼。 2 美しいアーチを描くサンタ·マリア教会の入口。 3 12世紀に建てられたサン·マルティン教会。ロマネスク彫刻や煌びやかな祭壇装飾が残る。 4 サンタ·マリア教会。堂内には静かな祈りの世界が広がっている。

タラソナ
Tarazona

標高 480 m | 人口 10,500人



旧市街で辿る、三つの文化の足跡

アラゴン西部、イベリコ山系最高峰のモンカーヨ山（2315m）を望むタラソナ。かつてカスティーリャ王国・ナバラ王国・アラゴン王国が拮抗した要衝は、中世に文化・商業・外交・軍事・宗教の十字路として発展しました。

まず目に留まるのは、サンタ・マリア・デ・ラ・ウエルタ大聖堂。ゴシック、ムデハル、ルネサンス様式が融合する壮大な建築です。その近くには、18世紀に建てられ、現在は住宅として利用されている旧闘牛場があります。

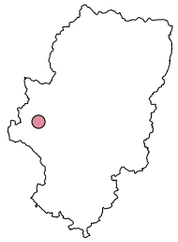
ケイレス川を渡り、旧市街を散策しましょう。数々のレリーフで華やかに飾られたファザードは市庁舎のもの。タラソナに伝わる伝説や歴史が装飾されていて、思わず見入ってしまいます。歴史情緒あふれる町並みが残る旧ユダヤ人街は、眼前に迫りくる宙づりの家など見どころ満載。その先に見えるサンタ・マリア・マグダレナ教会の鐘楼は、イスラム教建築とキリスト教建築が見事に融合した、ムデハル建築で造られています。

旧市街の見晴台から町の全景とモンカーヨ山を眺め、散策を締めくくりましょう。

1 旧市街の全景。サンタ・マリア・マグダレナ教会の鐘楼（左）と司教館（右）が建つ。 2 タラソナの市庁舎。 3 サンタ・マリア大聖堂。 4 旧市街の見晴らし台からは大聖堂や旧闘牛場が見える。 5 サンタ・マリア大聖堂の豪華絢爛な主祭壇。

カラタユ
Calatayud

標高 536 m | 人口 19,700人



マドリッドとサラゴサの間にある歴史情緒あふれる町

サラゴサの南西88㎞。イベリコ山系のなだらかな山地に囲まれ、ハロン川が流れる自然豊かな土地にカラタユはあります。

町の起源はローマ共和制まで遡ります。町の背後にそびえる岩壁の上にはイスラム教徒が建てた要塞跡があり、いくつもの文化が交差した歴史を物語ります。

旧市街に建つサンタ・マリア教会の後陣・回廊・鐘楼は「アラゴンのムデハル様式建造物」の一部として世界遺産に登録されています。特に、鐘楼を飾るレンガ造りの緻密な幾何学模様は必見です。サン・フアン・エル・レアル教会には若かりし頃のゴヤが描いた壁画が残っています。カラフルな家屋が立ち並ぶマジョール広場を訪ねたり、城壁近くから町を眺めてみるのもおすすめです。

カラタユでは本場の原産地呼称ワインを味わってみてください。スペイン固有種のガルナッチャを使用したワインが多く、豊かな香りと口当たりの心地よさが特徴です。バルやレストランで気軽に楽しむことができます。

マドリッドとサラゴサの中間に位置し、両都市からAVE（高速列車）でアクセスできる点も魅力的です。

1 涼やかな水が流れる「8つの泉」（左）と旧市街へと続く「テレル門」（右）。 2 サン・アンドレス教会。ムデハル様式の鐘楼が目を引く。 3 旧市街の中心であるスペイン広場。 4 町の裏には城壁跡が残る。

ダローカ
Daroca

標高 782 m | 人口 1,900人

城壁に囲まれた博物館のような村

サン·ホルヘ山（855m）とサン·クリストバル山（931m）の間に身を潜めるように佇む村ダローカ。二つの山を結ぶ長さ4kmの城跡は、今もなお村を取り囲みます。村への入口はバレンシア門·アルタ門·バッハ門の三か所のみ。重厚な造りの門をくぐると、昔ながらの町並みが現れます。

マジョール通りを進むと、村の中心に建つサンタ·マリア教会が見えてきます。ダローカで語り継がれる伝説に登場する「聖体」が保管されていることで知られています。

三つの宗教が共存した時代を物語る旧ユダヤ人地区を散策した後は、三つの小さな教会も訪ねてみましょう。

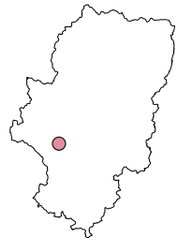
ゴシック様式の壁画が残るサン·ミゲル教会をはじめ、ロマネスク様式とムデハル様式が混在するサン·フアン教会やサント·ドミンゴ教会など、中世の繁栄をうかがわせる建築が旧市街に集中しています。これらのモニュメントを舞台に8月には古楽国際フェスティバルが開催されます。

散策の締めくくりは城壁へ。オレンジ色の瓦屋根が広がる町を一望してみてください。

1 小高い山に囲まれた村。山の上には今も城壁が残る。 2 町への入口「プエルタ·アルタ」（15世紀）。 3 町の中心に建つサンタ·マリア教会。伝説で語り継がれる「聖体」が保管されている。 4 要塞のような迫力を持つ「プエルタ·バッハ」（15世紀）。

アネント
Anento

標高 925 m | 人口 100人



緑豊かな自然に囲まれた赤茶色の村

サラゴサから南西へ約80㎞。ヒローカ渓谷に位置する村アネントに到着です。

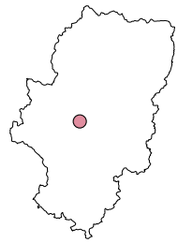
数本の道からなる小さな村ですが、見どころはたくさんあります。ゴシック様式の繊細な祭壇装飾で有名なサン·ブラス教会は必見。約500年前に作られた、アラゴンで最大規模のゴシック祭壇画です。村の高台に残るのは14世紀の城跡。カスティーリャ王国との戦いに備えて建てられました。

村の郊外には、豊かな自然に囲まれたアグアジュエベの泉があり、1時間ほどのハイキングを楽しむことができます。

1 黄色い外壁の村。サン·ブラス教会の鐘楼は村の目印。

フエンデトドス
Fuendetodos

標高 750 m | 人口 140人



広大な平原に囲まれたゴヤの生誕地

サラゴサから南へ約45㎞。カンポ·デ·ベルチーテ地方特有の広大な大地にフエンデトドスは佇んでいます。スペインを代表するゴヤの生誕地として知られています。

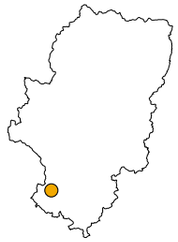
彼が6歳まで暮らした生家は博物館として公開されており、アラゴンの典型的な伝統家屋を見学することができます。版画美術館ではゴヤが晩年、熱心に制作した版画作品を鑑賞することができます。

村の周辺には、冬に雪を蓄え、夏に氷として利用するために使われた氷室が残っており、昔の暮らしを今に伝えています。

1 カンポ·デ·ベルチーテの大地に佇むフエンデトドス。

アルバラシン
Albarracín

標高 1171 m | 人口 1,000人



崖の上に広がる中世の村で旅情に浸る

テルエル県西部、北をアルバラシン山地、南をウニベルサレス山地に囲まれた秘境に、アルバラシンは佇んでいます。グアダルビアル川に囲まれた絶壁はまさに天然の要塞。その上に広がる美しい村は、中世で時が止まったような錯覚を覚えるほど、趣のある町並みをとどめています。

イスラム文化とキリスト教文化が融合した町の歴史は、アルバラシンの街角に確かに息づいています。赤茶色の伝統家屋、11世紀に起源を持つ城壁、景色にアクセントをつけるサンティアゴ教会の鐘楼、山間部の伝統家屋を象徴する「フリアネータの家」、町を一望できる見晴台、修復されたばかりの煌びやかな大聖堂、かつてのアラブ要塞。いつ·どこを切り取っても絵になる街角に飽きることはないはずです。

旧市街の散策を楽しんだ後は、城壁へひと登り。町にあかりが灯る夕暮れ時はロマンチックな風景が広がります。

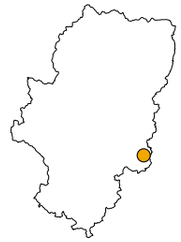
町の下を流れるグアダルビアル川沿いのハイキングや、川を挟んで対岸に位置する展望ポイントもおすすめです。

赤松の林が茂り、先史時代の壁画が残るピナーレス·デ·ロデノ景観保護区も近場にあります。

1 城壁からの眺め。細長い丘の上に広がる村を一望できる。 2 赤茶色の町並みは一度見ると忘れられない。 3 門からのぞく「フリアネータの家」。 4 サンタ·マリア教会の鐘楼と村を取り囲む城壁。

バルデロブレス
Valderrobres

標高 508 m | 人口 2,400人



石橋を渡り足を踏み入れる中世の世界

マタラーニャ地方の都バルデロブレス。小高い山と松林に囲まれた村はマタラーニャ川を挟み、新市街と旧市街に分かれています。

大きな石橋の向こうに、なだらかな丘の斜面に広がる旧市街が見えます。川沿いにはバルコニーが付いた伝統家屋が立ち並び、サン·ロケ門が旅人を迎え入れます。橋を渡り、門をくぐると、国の歴史遺産に指定される旧市街が現れます。16世紀の市庁舎を横切り、小さなスペイン広場を眺めたら、町の頂上を目指します。商店やバル、レストランが立ち並ぶ道を進むと高台に到着です。

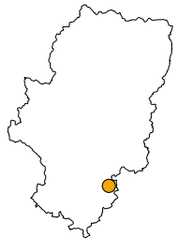
バルデロブレス城は12世紀末に起源を持つ、ゴシック様式の要塞です。ここを起点に丘の麓へと町が拡大しました。城内は見学可能。城の上は見晴台になっています。城の隣にはゴシック様式のサンタ·マリア教会が建っています。アラバスター（雪花石膏）がはめられた美しいバラ窓や簡素ながらも趣のある堂内が見所です。教会の正面には博物館もあります。

テルエルの生ハムやオリーブ油、黄桃など、ご当地グルメも楽しんでみてください。

1 石橋のたもとから見上げる迫力ある旧市街。 2 旧市街に入ると最初に現れる市庁舎（16世紀）。 3 バルデロブレス城。 4 旧市街の小道。 5 サンタ·マリア教会。アラバスターがはめ込まれたバラ窓が目印。

カンタビエッハ
Cantavieja

標高 1200 m | 人口 700人



標高1300mの崖の上に佇む天空の村

アラゴン南東、バレンシア州と接するマエストラスゴ地方は景観の変化に富むアラゴンの隠れた名所です。その都であるカンタビエッハは断崖絶壁の上に広がる風光明媚な村。崖の下から見上げる町はまさに天空に浮かんでいるようです。

村の中心ポルティカーダ広場は16世紀に建てられた市庁舎と17世紀に建てられたアスンシオン教会が、美しい弧を描くポーチで結ばれています。風景にアクセントをつける鐘楼は、まるで要塞のような立派な姿をしています。塔に登ると村を一望することができます。広場の周りに立ち並ぶ昔の邸宅も旅情をそそります。

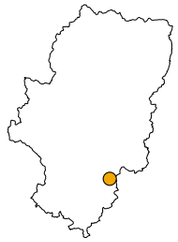
村の突端まで来ると、塔と城壁、礼拝堂が見えてきます。イベリア人がこの地に暮らした時代から村を見守ってきた場所です。テンプル騎士団、聖ヨハネ騎士団、カルリスタ戦争など様々な歴史の足跡が刻まれています。

村の周りには自然を楽しめるスポットがたくさんあります。タラジュエラ展望地から村の遠望を眺めたり、ファルドゥリハの泉やカンタビエッハ川のほとりへハイキングに出かけるのも良いでしょう。

1 村の中心、ポルティカーダ広場。いくつものアーチが美しい弧を描く。2 ポルティカーダ広場をのんびり歩いてみよう。3 広場に隣接するアスンシオン教会。4 昔の邸宅が軒を連ねるマジョール通り。

ミランベル
Mirambel

標高 993 m | 人口 100人



城壁の中で時が止まった中世の村

前述のカンタビエッハから北東へ13km。バレンシア州に入ろうかというところで、サン·クリストバル山の麓に佇むミランベルが見えてきました。

城壁に囲まれた旧市街。外から様子をうかがい知ることはできません。一見すると何もないように見えますが、「修道女の門」から村の中へ入ると中世の街並みが現れます。

入ってきた門を振り返ると、漆喰と粘土でつくられた美しい模様が目に入ります。その隣にアウグスティーナス修道院が併設していることから「修道女の門」と呼ばれています。修道院と門は見学が可能です。

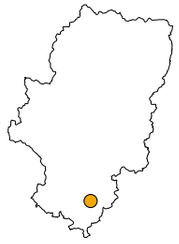
町並みの保存状態の良さからヨーロッパの文化賞であるエウロパ·ノストラを受賞したことがあります。17世紀に建てられたサンタ·マルガリータ教会やルネサンス様式の市庁舎、13世紀にテンプル騎士団によって建てられた城の跡などが小さな村に残っています。

マエストラスゴ建築遺産博物館で地域の伝統家屋について触れたり、ラ·クーバ村やチーズが有名なトロンチョン村など近隣の村へのハイキングもおすすめです。

1 ミランベルの旧市街と美しい模様が施された「修道女の門」。2 17世紀に建てられたサンタ·マルガリータ教会。3 城壁の中には古い町並みが残る。4 エストゥディオ門をくぐると現れる可愛らしい伝統家屋。

モラ·デ·ルビエロス
Mora de Rubielos

標高 1035 m | 人口 1,500人



城から一望する中世の村

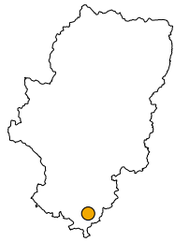
アラゴン州の南、フエン·ロサーナ川が流れるグダル山麓に、モラ·デ·ルビエロスは佇んでいます。山間部に覆われたグダル·ハバランブレ地方の都は、高台の城を起点に昔ながらの町並みが残る村です。ゴシック様式のサンタ·マリア教会は重厚ながらも洗練された堂内が魅力的です。モラ·デ·ルビエロ城はイスラムの砦に起源を持ち、国土回復運動の後、キリスト教建築へと姿を変えました。

プエルタ·アル·メディテラネオ祭が開催される8月は町が最も賑わう季節です。

1 城と教会を起点に広がる村。

ルビエロス·デ·モラ
Rubielos de Mora

標高 929 m | 人口 600人



サンタ·マリア教会の周りに広がる旧市街

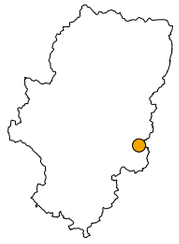
アラゴンとレバンテ地方の間に位置するルビエロス·デ·モラは古くから様々な文化が行き交う土地でした。

サン·アントニオ門とカルメン門から、中世の城塞都市の面影を残す旧市街へ足を踏み入れましょう。サンタ·マリア教会では聖母マリアの生涯が描かれたゴシック様式の繊細な祭壇装飾を鑑賞したり、ルネサンス様式の市庁舎では美しい中庭を覗いたり、石造りの伝統家屋の間を歩きながら散策を楽しんでください。

1 14〜15世紀にかけて建てられたサン·アントニオ門。

カラセイテ
Calaceite

標高 511 m | 人口 900人



アーモンドとオリーブの畑に囲まれた美しい村

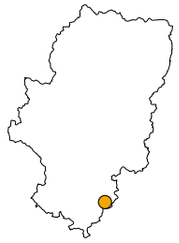
アラゴン東部のマタラーニャ地方は切り立った丘や丘陵地帯、断崖などの多様な景観が楽しめる地域です。アーモンドとオリーブの畑の向こうに、カラセイテが見えてきます。

重厚な石造りの町並みが広がる旧市街では、マジョール通り、スペイン広場、マエージャ通り、バロック様式のファザードが目を引くアスンシオン教会などを中心に歩いてみましょう。村の郊外にあるイベリア人居住跡「サン·アントン」からはマタラーニャ地方の自然を一望することができます。

1 瓦屋根の町並みとアスンシオン教会の鐘楼。

プエルトミンガルボ
Puertomingalvo

標高 1456 m | 人口 140人



岩山に広がる孤高の村

アラゴン南東、グダル山脈の谷間を進むと見えてくる村プエルトミンガルボ。岩山の上につくられた村は、13世紀の城を頂点に麓へとゆるやかに広がっています。

城門をくぐり小さな村に足を踏み入れます。18世紀に建てられたコンセプシオン教会は大きなバロック建築。堂内にはバロック様式の巨大な祭壇装飾が残っています。

毎年8月に開催されるお祭りでは、村が中世の雰囲気に包まれます。美しい水景が楽しめるアルケロ滝へのハイキングもおすすめです。

1 青空とオレンジ色の屋根のコントラストが美しい。

アラゴンの名産品

Productos típicos de Aragón

地元の人々に愛される、美しい村のご当地グルメをご紹介。その土地の食べ物を味わうことで、旅がさらに楽しくなるはずです。

アラゴンには多様な自然の中で育まれた、宝石のような食材・食品がたくさんあります。

現地で楽しむのはもちろん、保存食はお土産にもぴったり。グルメショップやスーパーで気軽に手に取ることができます。

テルエルの生ハム
Jamón de Teruel

きめ細かい脂身と輝くような薄いピンク色の生ハム。控えめな塩気と上品な甘みが特徴。原産地呼称付き。

トリュフ
Trufa

アラゴンはスペインを代表するトリュフの名産地。香り高い黒トリュフがアラゴン全土で栽培されています。

チーズ
Quesos

北のピレネー山脈と南のイベリコ山系を中心に羊乳と山羊乳を使ったチーズ生産が盛んです。

カランダの黄桃
Melocotón de Calanda

バッホ・アラゴン地方で栽培される黄桃。しっかりとした果肉と豊かな香りが特徴です。原産地呼称付き。

オリーブオイル
Aceite de Oliva

アラゴン全土で生産される黄金の油。原産地呼称が認められたバッホ・アラゴン地方のオリーブ・オイルが有名。

ワイン
Vinos

ソモンターノ、カンポ・デ・ボルハ、カリニェーナ、カラタユの4つの生産地が有名。

ドライソーセージ
Embutidos

風味豊かなドライソーセージが数多く生産される。ジビエを使用した個性的なソーセージもあります。

きのこ
Setas

9月下旬から10月上旬にかけて、山間部でポルチーニ茸やアカハツ茸などが採れます。ジューシーで肉厚な食感が特徴。

サフラン
Azafrán

パエリアや煮物に欠かせない高級調味料。テルエル県を中心に栽培されています。

はちみつ
Miel

アラゴン全土で生産される天然はちみつ。ヨーグルトやチーズとあわせて楽しみます。

アラゴンの名物料理

Platos típicos de Aragón

食材の味を存分に楽しめるアラゴンの郷土料理。シンプルな調理法が素材の味を引き立てます。

小さな村のアットホームな雰囲気や食事を楽しむ人々の笑顔は料理をさらにおいしくするスパイス。

アラゴンのレストランやバルには穏やかで心地よい時間が流れています。

アラゴンの仔羊
Ternasco de Aragón

原産地呼称が付く高級食材「アラゴンの仔羊」。臭みがない柔らかな肉を炭火焼やオーブン焼きで召し上がれ。

ミーガス
Migas

パンくずとソーセージを炒めた一皿。羊飼い料理に起源を持つ郷土料理。ブドウや目玉焼きをのせることも。

ボラッハ
Borraja

アラゴンを代表する葉野菜「ボリジ」。茎を茹で、塩・オリーブオイルをかけて食べる定番の家庭料理です。

鶏肉のチリンドロン風
Pollo al Chilindrón

鶏肉をトマトやパプリカとじっくり煮た一皿。柔らかい鶏肉に旨味が凝縮されています。

グラウスのソーセージ
Longaniza de Graus

ウエスカ県のグラウスで生産されるあらびきソーセージ。絶妙なバランスで調合された香辛料が肉の旨みを引きたてます。

アラゴン風サラダ
Ensalada aragonesa

白アスパラ、オリーブ、生ハム、ツナ、ゆで卵がトッピングされたボリューム満点のサラダ。夏にぴったりの一皿です。

バカラオ・アホアリエロ
Bacalao ajoarriero

塩鱈・ジャガイモ・玉ねぎを油煮にして、卵でとじた郷土料理。ニンニクの香りが食欲をそそる一品。

トレンサ
Trenza

ナッツやレーズンを練りこんだ生地を三つ編み（スペイン語でトレンサ）状にしてサクッと焼き上げたパイ。

パステル・ルソ
Pastel ruso

アーモンドの粉を使った薄い生地でクリームを挟んだ上品なスイーツ。アーモンドの香りが口いっぱいに広がる。

カスターニャス・デ・マサパン
Castañas de mazapán

栗の形をしたマジパン。飴でコーティングされた一粒はまるで本物の栗のよう。ウエスカ県の伝統菓子。

美しい村を旅するためのヒント

1

スペイン語で挨拶

24時間使えるフレーズ、Hola（オラ!）で元気に挨拶してみよう。

2

夏の天気は要チェック

7･8月の14時～17時は気温が上昇するので要注意。地元民にならって、シエスタ（昼寝）するのもおすすめ。

3

歩きやすい靴

小さな村は坂道や石畳の道が多い。歩きなれた靴をチョイスしよう。

4

アクセス情報

公共交通機関でアクセスできない村もある。事前に行き方を確認しておこう。

5

モニュメント情報

村の教会や博物館は毎日オープンしていない場合もあるので、事前にオープン時間や予約方法を確認しよう。

6

ショップ営業時間

お昼休み（14時～17時ごろ）をするお店もあることを念頭に旅の計画を立てよう。

7

レストランの営業時間

昼食は14時～16時、夕食は20時過ぎ～のレストランが多いので注意しよう。

アラゴンへのアクセス

アラゴンへの移動は、県都であるサラゴサ市（Zaragoza）、ウエスカ市（Huesca）、テルエル市（Teruel）を起点に行うと便利です。

ウエスカへの行き方

マドリッド・アトーチャ駅	→	高速列車AVE	→	約2時間半	ウエスカ
バルセロナ・サンツ駅	→	高速バス	→	約4時間	
サラゴサ・デリシアス駅	→	高速バス	→	約1時間	
レリダ	→	高速バス	→	約2時間半	

サラゴサへの行き方

マドリッド・アトーチャ駅	→	高速列車AVE	→	約1時間半	サラゴサ
バルセロナ・サンツ駅	→	高速列車AVE	→	約1時間半	
ビルバオ	→	高速バス	→	約4時間	
サン・セバスチャン	→	高速バス	→	約3時間半	
パンプローナ	→	高速バス	→	約2時間半	

テルエルへの行き方

サラゴサ・デリシアス駅	→	列車	→	約2時間半	テルエル
バレンシア	→	列車	→	約2時間半	
バレンシア	→	高速バス	→	約2時間	

www.turismodearagon.com/ja/
ARAGÓN
turismo
sostenible
サステナブル　ツーリズム
GOBIERNO
DE ARAGON